

2022 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

サテライト三日市場

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-④⑥⑦)
総括表

令和5年3月31日
小規模多機能型居宅介護 サテライト三日市場

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年2月 26日(13:30~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	0人	0人	6人

前回の改善計画

独居の利用者さんで必要な方は地域の民生委員と連絡を取る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・民生委員さんを含め話し合いの場を持つことができた。
- ・様子を伝えたことで、地域で困った時には連絡をもらえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	1	0	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	1	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	4	1	6

できている点

- ・利用日以外の昼間の様子がわかる様、訪問日を増やし知ることができた。
- ・個人ファイルのアセスメントを確認することができた。
- ・本人の話を聞きその様子を共有することができた。

できていない点

- ・安心して暮らしている方の民生委員さんとの交流ができない。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用者さんが暮らしている地区の民生委員さんに、管理者と計画作成担当者と、年に1回は挨拶に行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年2月26日(13:30~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	0人	2人	6人

前回の改善計画
住んでいる地区で地域の資源が活用できている方は、引き続き活用が切れない様支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域資源との連携が取れるように挨拶に行った。 ・情報を共有できるようにしたことで、事業所を知ってもらえた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	2	2	2	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	4	2	6
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	3	1	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	5	1	6

できている点
・コロナ禍で機会が少なくなっているが、必要に応じて話し合いの場を持つことができた。 ・地域や自治会等の行事には積極的に参加できた。

できていない点
・コロナ禍で会議自体が少ない。その為全職員が参加することは出来なかった。(代表者の参加だった。)

次回までの具体的な改善計画
・地域の方や、ボランティアの方に来てもらえるようなイベントを考えていく。 (オカリナの方や、隣の方と交流する。)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年2月 26日(13:30~14:30)

7. 運営

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	0人	0人	6人

前回の改善計画	
地域の方にわかっていただけのように看板を作る。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・駐車場と事業所入口に看板を設置できた。 ・今後はメンテナンスもしていく。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	5	1	0	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	2	0	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	1	0	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	3	1	6

できている点	
・家族や利用者からの苦情は、皆で改善できるよう迅速に対応した。 ・家族や利用者から発信された言葉を皆で共有してきた。	

できていない点	
・事業所のあり方について、自分のアイデアや意見を言えなかった。	

次回までの具体的な改善計画	
・キャリアパスを利用し、個々の意見やアイデアを伝えてもらいやすくしていく。	

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・ 事業所 の特徴	事業所のある場所は田んぼや畑に囲まれているのどかな場所です。組合に加入しているので、地域の行事には職員が交代で参加しています。天気の良い日には近所の散歩に出かけます。全員でご飯を作る日を決め、手も口も動かしながら、元気に過ごしています。利用者様が安心して自宅で暮らしていけるように、家族・地域の方と相談しながら、チームで支援しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 サテライト三日市場	管理者	上田 千代里		

出席者	市町村職員	知見を有する もの	地域住民・地域 団体	利用者	利用者家族	地域包括 支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	3人	1人	1人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部評価の項目、4「地域での暮らしの支援」6「連動・協働」7「運営」の3項目について、全員で確認する。	民生委員を含め話し合いの場を持つことができた。独居の方は特に関わりがもてた。コロナ禍で動けないこともあった。	事業所の自己評価には職員全員で取り組んでいることが確認できた。	外部評価の項目、2「～したいの実現」3「日常生活の支援」6「連動・協働」の3項目について、職員全員で取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	プランターでの野菜作りは継続し、収穫を楽しむ。庭の環境整備にみんなで取り組む。	プランターで季節の野菜が少しだが収穫できた。庭の環境整備は思うようにできなかったが、庭木の剪定と片付けができた。	看板がつけられ、駐車場も決められ、寄り付きやすくなった。二年に一回区民祭があるので、そこに参加出来たら良いのでは。	庭の手入れをする時間を作るために、毎月の行事係にも協力してもらい予定に入れる。看板のメンテナンスをする。
C. 事業所と地域のかかわり	自治会長さんに、おいなんよ通信を回覧で入れてもらえないか伺いに行く。	自治会長さんにお問い合わせに行けなかった。近所や運営推進委員会にはいろいろな職員が配りに行くことができた。	コロナ禍で地域の会議もないし、関わりが少なかったのはしょうがない。	区に今年度から加入したので、通信を回覧で入れてもらうようお願いする。文化祭の展示に事業所の紹介を書く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	変化があった時には、その方が住んでいる地域の関係者の方々に挨拶に行く。	地域の資源で、スーパー・タクシー会社・飲食店等と連絡が取れた。住んでいる地域の民生委員さんと連絡を取ることができた。	地域で暮らす独居の方に気配りができている。	必要な利用方法を相談し、地域とのつながりを切らないように支援していく(お茶のみ友達、散歩仲間)。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議以外の時でも、地域の困りごとや、最近の様子について、情報交換できるように、民生委員や包括に連絡をする。	地域の困りごとがわかっていない。独居の方は民生委員と連絡を取るのが、家族と暮らしている方は、連絡を取る機会がない。	独居が増えていると思うが、会議もなく会話をする機会がないので、様子もわかっていない。	地域包括と連絡を取り、困りごとの相談をしたり、アドバイスをもらう。事例検討をする。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する。事業所の避難訓練に参加していただく。自治会長さんに災害時のことについて話に行く。	事業所の防災計画について、確認し意見がもられた。備蓄品の補充・購入ができた。BCPの配布ができた。	事業所の避難訓練に参加できている。福祉避難所でかざこしの里と連携している。	地域の避難訓練に参加する。福祉避難所のことについて確認する。前回配布したBCPについて意見を聞く。

